

## 大学院高度副プログラム「ERASMUS MUNDUS 英語授業・現代日本論」について (大学院科目等履修生高度プログラム)

「高度副プログラム」は専攻の教育プログラムに加えて、幅広い素養を身につけるとともに、高度な専門性を獲得することを目的としています。文学研究科が開設する本プログラムは他研究科の大学院生を対象とし、修了した学生には「高度副プログラム修了認定書」が授与されます。また科目等履修生に対しては「高度プログラム修了認定書」が授与されます。なお文学研究科の学生は、本プログラムの各授業を選択科目として履修することができます。

文学研究科は2008年度よりヨーロッパ高等教育機関の協働によるエラスムス・ムンドゥス・マスター・プログラム（「ユーロカルチャー」）に域外パートナーとして参加します。同プログラム在籍の留学生を対象に新たな教育プログラムを構築するとともに、本学大学院在籍の留学生や留学を志す日本人学生の参加によって、より国際的な大学教育をめざしています。授業はすべて英語で行われ、教員と学生の間、学生相互間でディスカッションを行うことにより、双方向的な授業を実施します。ヨーロッパ、アメリカ、アジアなどの諸外国との関係、交流、影響を視野に入れながら、特に「現代」を主題化し、日本の文化、社会、歴史、芸術、文学、言語について学習します。毎年10月～12月にかけて5コマの授業を10回開講。授業時間以外に英語による文献を読むことが求められるとともに、交流会、見学会などを実施し、異なる文化のもとで生まれ育った学生同士のコミュニケーションおよび相互理解をめざしています。日本人学生にとっては、英語を通じて、国際的見地から自らの文化、社会、歴史を相対化するとともに、英語による発言能力を養い、日本文化・歴史を理解可能なものとして発信することを学ぶことになります。

2008年度開講科目（10月～12月）：詳しくはKOAN参照のこと：

現代日本文化論 Contemporary Japanese Culture (Satoshi Kinsui) 火曜4限

"Role Language" and other Prototypical Expressions in Japanese Pop-culture Works

現代日本思想論 Contemporary Japanese Thought (Taro Mochizuki) 木曜2限

Social Thought and Philosophy of Postwar Japan

現代日本文学論 Modern Japanese Literature (Takayuki Yokota-Murakami) 木曜3限

Representations of Love and Sex

比較芸術論 Comparative Arts (Haruhiko Fujita) 火曜2限

Art and Design in Japan: Tradition and Innovation

日本現代史 Modern Japanese History (Toshihiro Minohara) 水曜4、5限（隔週）

Diplomatic and Political History of Modern Japan

注意)

1. 大学院高度副プログラム受講対象者：大阪大学大学院博士前期課程・後期課程在学者（文学研究科在籍者を除く）
2. 大学院科目等履修生高度プログラム受講対象者：学士号取得者
3. エラスムス・ムンドゥス・マスター・プログラム在籍の学生はTOEFL580点以上の成績の所持者であるため、それと見合う英語能力を有していること。
4. 修了単位数：8単位以上
5. 修了期間：3年以内